

第六回東葉プロック商工会
議所青年部運営研究会は、九
月十九日、上尾市福祉会館に
五十五商工会議所から、六百
十九名の青年部会員を集め、
盛大に開かれました。

今回の運営研究会は、
当初の準備段階から各地
の要望をとり入れ、主管
青年部は勿論、埼玉県内
の大宮、川口、本庄の共
同企画のような形で作り
上げました。四つの分科
会は、いずれも青年部会
員や青年部の役員が、
コーディネートやアド
バイザーをつとめるとい
った、いわば手作り分科
会。これに各地青年部の
テーマに基づいた事例発
表を折り込んだ形で進め
られ、参加会員の好評を得
ました。

関東 手作り分科会で大成功
上尾市商工会議所青年部(会長 田中 守)

「新時代に対応した自立
型企業を日ざして」と題
して、川口、沼津の発表
に基づき、上尾青年部の
日西戸田吉氏(上尾金属
工業協同組合専務理事)が
講演。一段と熱心な話を
増した中小工場の経営環
境と、今後の指針をアド
バイズしました。

第三分科会「建設業」
は、「民活時代に果たす建
設業」のテーマで、事例
発表と埼玉県企業財政部
長、次回開催地に決定した榎
木県足利市での再会を約して
散会しました。



去る九
月二十一
日、上尾
市福祉会
館にて、
江岸総合
文化セン
ター・プ
ラパーク
ラパーク
にて、中
国地区
二十六商
工会議所
青年部の
役員三百
二十四人
が一堂に
集り、運
営研究
大会が盛
大に開催
された。

以下は研究会の概要です。

●第一部 記念講演
日本マクドナルド社長藤田田中(三)氏を招き、マクドナルド成功の秘密「外食産業日本一」と題した講演は、参加青年部会員に好評を博した。なかでも、その秘訣を飲食文化経営と時間節約の二点と強調し、特に情報分析に企業努力を傾注し、顧客層を限定し、宣伝する経営を続けていく限り、マクドナルドの年間売り上げ五千億はたやすく、外食

は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

第二分科会「社会サービス業」は、ソフト社会の到来とサービス業の行方、上尾のメン

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

その結果、華なる研鑽、研修にとどまる活動でなく、その成果を確信、提言という形で、商工会議所の目的に整合するまで高める必要があると総括した。

「第二分科会」は、地域経済の活性化を目指して、のテーマで、北川泉島大教授、古岡豊樹(長川町長を

バーによるパネルディスカッション方式で進められました。いずれの分科会でも、本研究会テーマ「わがまちの新時代と青年部の役割」に向け、各青年部がそれぞれ地域に引き込みながら活発に事業を展開し、また模範を示していることが事例発表からうかがえ、また、九十分の時間では足りないほど、活発な意見発表がありました。

分科会のおと大ホールで多数の来賓を迎えて全体会議が行われ、最後に、本庄商工会議所副会長・高橋博八氏の「青年経営者に期待する」と題した記念講演に熱心に耳を傾けて閉会しました。

夕方から会場を移して、なごやかに立食パーティを開き、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「第二分科会」は、地域経済の活性化を目指して、のテーマで、北川泉島大教授、古岡豊樹(長川町長を

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

分科会のおと大ホールで多数の来賓を迎えて全体会議が行われ、最後に、本庄商工会議所副会長・高橋博八氏の「青年経営者に期待する」と題した記念講演に熱心に耳を傾けて閉会しました。

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「第二分科会」は、地域経済の活性化を目指して、のテーマで、北川泉島大教授、古岡豊樹(長川町長を

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

分科会のおと大ホールで多数の来賓を迎えて全体会議が行われ、最後に、本庄商工会議所副会長・高橋博八氏の「青年経営者に期待する」と題した記念講演に熱心に耳を傾けて閉会しました。

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「第二分科会」は、地域経済の活性化を目指して、のテーマで、北川泉島大教授、古岡豊樹(長川町長を

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

分科会のおと大ホールで多数の来賓を迎えて全体会議が行われ、最後に、本庄商工会議所副会長・高橋博八氏の「青年経営者に期待する」と題した記念講演に熱心に耳を傾けて閉会しました。

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「第二分科会」は、地域経済の活性化を目指して、のテーマで、北川泉島大教授、古岡豊樹(長川町長を

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

分科会のおと大ホールで多数の来賓を迎えて全体会議が行われ、最後に、本庄商工会議所副会長・高橋博八氏の「青年経営者に期待する」と題した記念講演に熱心に耳を傾けて閉会しました。

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「第二分科会」は、地域経済の活性化を目指して、のテーマで、北川泉島大教授、古岡豊樹(長川町長を



中国 記念講演が大好評

松江商工会議所青年部(代表理事 田中征二郎)

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

四国 懇親会も盛り上がる

高知商工会議所青年部(会長 富地彌典)

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

九州 分科会をハスセッション方式で

飯塚商工会議所青年部(会長 滝本竜也)

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。

「第二分科会」は、民活時代に果たす建設業」のテーマで、事例発表と埼玉県企業財政部長、次回開催地に決定した榎木県足利市での再会を約して散会しました。

「わがまちの新時代と青年部の役割」の統一テーマのもと、松浦功二(島根大学教授)、林淵功二(商青連組織強化委員長)を講師に招き、光、鳥取、安来の青年部会員からの事例発表の後、主体性のある活動について熱心な意見交換が行なわれた。



「北端の地で行動の輪を」

前田典太郎

（北海道庁）美幌商工会議所青年部部長

美幌は北海道の北端にあり、人口は二十万人の内の約四分の一、面積は約三万七千平方キロメートル、農業と畜産の盛んな、田舎町です。交通も不便で、札幌まで飛行機で五十分、東京へも直行便でわずか一時間四十分行う所があります。

開拓の歴史が浅く、九十九年の歴史を持つので、先住民であるアイヌ語の「ピポロ」が、美幌の語源で、水清く大いなるところという意味だそうです。また、阿寒国立公園の表玄関でもあり、北海道が誇る景勝地・美幌峠は、年間訪客約二百二十万人を数え、北海道調査の、北海道百選では、宜蘭の地球村に

「津ベストシズンは尾車親方に」

津市三重県農林部

津市は三重県の県庁所在地としての行政都市といえ、人口は僅か十五万人の市であり、伊勢は津でも、津は伊勢でも「津」との古くからの言葉も歴史の感を告げます。

こうした現状の中、我々、津商工会議所青年部では、活動の一環として初年度（昭和六十一年）の青年会に、会員の持ち寄り品のオークションを行いました。このオークションで集めた資金をもとに、津ベストシズン賞を創設しようという企画が持ち上がったのです。

全国二百五十七の青年部の持寄り品オークションの協力を得て、津の認識調査を実施。その結果、約三割の方は津が三重県にあること自体ご存知ないなど、残念ながら全

地域経済の主役
躍動する青年部
— ARE・KORE —

「しかしながらどんなに高度な理想を掲げても、この会に、意識をもって出席させること、この会を愛護する物にする」とが先決であり、親睦を深めることも目的の大きな柱と考へ、初代の大西部長を中心に取り組んでまいりました。

現在、当会の活動は、親睦、工業所事業の協力、経営セミナー、労働セミナーなどの開催も進んでまいりました。新しい事業としては、地元青年が主催する「まわり」に初参加。九月には、地元会議所加入商社を対象に、第一回の「現場対抗ボート大会」を開催する予定。おくれればせながら、我々は今何をしなければならぬか、全国の同志に呼びかけながら研鑽を続け、地域に活動の輪を拡大していきたいと思います。

こうして、一昨年の忘年会において全国が発表されて以来一年間、事業委員会（川喜田久委員長）を中心に、度々なる打ち合せを経て、精緻なシナリオも作成され、準備万端に、去る十一月八日、第一回津ベストシズンの授与式と祝賀パーティーが挙行された。

企画から準備、当日の運営まで、すべてが会員の創造力と行動力の結晶による手作り事業であったことは、今後の当会青年部の発展にとり、大きな意義があったと自負しています。



第一回津ベストシズン授与式で尾車親方を表彰

青森商工会議所青年部

新しい青森市を創造

青森市は青森県における政治、経済、教育、文化等の中心都市として、更に北東北における流通拠点都市として発展を遂げつつあり、高速交通体系の整備（東北自動車道の全線開通など）と相まって、今後とも、その果すべき役割は重要になってくるものと思われまふ。

当青年部は、こうした状況の中で、二十一世紀の青森を担う若い企業人の団結と連携により、新しい青森市を創造



青森商工会議所青年部の活動の様子

花巻市は岩手県の中央に位置する温泉地として、全国にその名を高めております。また、詩人宮沢賢治生誕の地であるとともに文化的遺跡の多いところでもあります。

花巻商工会議所青年部は、五十九年十一月に約二十名の発起人と発足、会議所活動に若者も参加し、研鑽し、行動にいかめしければ色々々活動を進め、花巻市の発展に貢献することを来すという覚悟から設立されました。

会員も現在では約二百名を数え、委員会活動も総務、会計、事業、研修の四委員会を

大宮商工会議所青年部

「二つの目的で邁進」

この度、青森市の仲間に加わりました大宮商工会議所青年部です。

当青年部は、県内五番目の青年部として、昨年四月十七日に四十五名をもって設立し、「青年経済人としての自己啓蒙と自己修練をはかると、豊かな地域経済社会を築く」との目的を掲げ、同商工会議所及び、地域の事業に積極的に



大宮商工会議所青年部の活動の様子

ようこそ商青連へ

新入会員紹介

今度の花巻の在り方を考えるために、花巻市の協力も得て「花巻市の現状と未来を展望する青年バスツアー」を実施して好評でした。

来しました。特に会議所会員大い、足利まつり、波良前ウオークなどの主管をはじめ、高等教育機関の設置に関する調査並びに提言など、地域の振興と活性化を目指し、推進して行きたいと考えます。

先聲請 兄のご指導を切にお願ひ申し上げます。

入会のご挨拶とい

足利商工会議所青年部は、歴史の街を舞台にして、わが町足利は、栃木県の南端に位置し、人口十六万八千余の産業都市です。市の中央には漢良橋の清流が流れ、織物の町、文化の町として歴史が古く、日本最古の「足利学校」、足利義氏ゆかりの屋敷跡「はん阿寺」など、幾多の重要文化財が残り美しい街です。

足利商工会議所青年部も昭和五十六年十月設立以来、会議所活動の一助を担いつつ、青年部としての活動を続けて



足利商工会議所青年部の活動の様子

相模原商工会議所青年部

「街づくりに取り組み」

当青年部は次代を担う若手商工業者を育成し、会議所組織の若返りを図るため、昭和四十三年九月、会員二十四名

現在、時代認識を高め、現代経営の知識を養うため、専門家を講師に招き、各種研修会を開催すると共に、市内各地に点在する部員は情報交換を密に行い、先進地を視察して、現在各地で進められている街づくりに取り組んでいます。

また、毎年、福祉事業を企画し、津財を神奈川県青少年院などに贈っていることも、青年部の特徴のひとつです。

一方、古いメンバーの多くは、すでに商工会議所や地域商店街組織の中核で中小企業に努力をしております。

昭和五十五年には、工業部に相模原市青年工業経営研究会に相模原市青年工業経営研



相模原商工会議所青年部の活動の様子

伊予商工会議所青年部は、商店街開町二百五十年記念行事に協力。

当市は愛媛県の中央部にあり、南は四国山脈の緑の山々、西北は波静かな瀬戸内海に面した人口約三万人の街です。

近年、大型店の進出や、隣接する県郡・松山市への購買力の流出により、商業が衰退傾向にあり、地域の活性化が重要課題とされているところですが、こうした経済環境のなか、期待大きく伊予商工会議所青年部が、昭和五十六年六月、約六十名で設立されました。

このなかでも昨年は、伊予市商店街開町三百五十年の記念すべき年にあたり、青年部として記念行事に参加し、盛り上げに協力しました。

一方、地域振興については、青年部として、相模原市青年工業経営研究会を通じて、親交と連携のもと、地域経済活性化に努力したいと思います。



伊予商工会議所青年部の活動の様子

